

緊急開催

政府のGX実現に向けた基本方針の問題点を学ぶ

エネルギー安全保障・脱炭素化に原発は有効か？

～原発の再稼働、稼働延長、「革新炉」開発の問題を考える～

政府は、2022年12月22日、2050年カーボンニュートラルを実現するための「GX実現に向けた基本方針 ～今後10年を見据えたロードマップ～」を決定しました。

基本方針は、「化石エネルギーへの過度な依存からの脱却を目指し、需要サイドにおける徹底した省エネルギー、製造業の燃料転換などを進めるとともに、供給サイドにおいては、足元の危機を乗り越えるためにも再生エネ、原子力などエネルギー安全保障に寄与し、脱炭素効果の高い電源を最大限活用する」とし、原発を最大限活用する方針を打ち出しました。その中身は、2030年度の電源構成に占める原子力比率 20～22%の確実な達成に向けた再稼働推進、運転期間の延長、「次世代革新炉」の開発・建設が含まれます。

福島原発事故から12年目を迎えようとしています。事故の原因究明は依然として進まず、廃炉への道筋も明らかではありません。にもかかわらず、国民的議論もないまま、第6次エネルギー基本計画から大きく方針転換した原発に関わる今回の決定の問題点を、原発問題の専門家である大島堅一さんと、政府の原子力小委員会メンバーである松久保肇さんをお迎えして学びます。

2023年1月16日(月)18:30～20:30(オンライン)

■内容:

1. 原子力は脱炭素社会の実現に有効か？

講師 大島堅一さん(龍谷大学政策学部教授)

2. 「原子力利用に関する基本的考え方」の課題と問題点

講師 松久保肇さん(原子力資料情報室事務局長)

3. 質疑応答



■募集: 90名

■参加費: 無料

■申込: 上記QRコードもしくは下記URLから所定の申込フォームにて、事前申込みをお願いします

■申込フォーム: <https://forms.gle/x9RbLwzcDsm9ezHU7>

※申込みは1月12日(木)までをお願いします。1月13日(金)に、参加のためのURLなどをお知らせします



◆パブリックコメント(意見募集)が始まっています◆

- 「GX実現に向けた基本方針」に対する意見募集(1/22、23時59分迄)
- 「原子力利用に関する基本的考え方」改定に向けた御意見の募集について(1/23、18時0分迄)
- 今後の原子力政策の方向性と行動指針(案)に対する意見公募について(1/22、23時59分迄)

■お問い合わせ: 地球環境市民会議(CASA)

TEL: 06-6910-6301 FAX: 06-6910-6302

E-Mail: office@casa1988.or.jp

■主催: NPO 法人地球環境市民会議(CASA)